

令和元年10月15日
東京都職員共済組合

東京都職員共済組合は ESG 投資を開始しました。

東京都職員共済組合* は、年金積立金の運用を行っております。

このたび、持続可能な社会の実現に取り組む企業に投資し、社会的要請に応えるため、ESG 投資** を本日(令和元年 10 月 15 日)開始しましたので、お知らせします。

* 東京都職員共済組合は、東京都及び 23 区等で構成しており、約 5,500 億円の年金積立金を国内外の債券や株式で運用

** 投資判断の中で、「環境 (Environment)」「社会 (Society)」「企業統治 (Governance)」といった三つの領域にある諸問題に関する非財務情報を取り上げ、意思決定プロセスに組み込む投資手法

記

1 投資内容

国内株式 3 ファンド 合計 110 億円

<各ファンドの特色>

- ・ESG モデルを活用し、環境(E)、社会(S)、企業統治(G)を均等に評価して投資企業を選定
- ・「働きやすさ」という社会性(S)のテーマに優れた企業に投資
- ・環境(E)を高く評価した企業を中心に投資

2 選定

応募のあった 28 事業者 38 ファンドの中から選定

3 今後の取り組み

ESG 投資を取り巻く状況や運用実績等を考慮し、投資拡大も検討していきます。

以上